

## 令和2年度 第1回学校関係者評価委員会 [記録]

司会:海和教頭  
記録:大石総務部長

[日 時] 令和2年10月28日(水)13:40~16:30

[場 所] 仙台大学附属明成高等学校 会議室

### 【開会前連絡事項】

- ・配布資料の確認                      ・感染予防への協力（換気、マイク使用等）
- ・16:00終了後、新校舎見学を予定（発表者は時間厳守）      ・本日の様子のHP掲載について



【会場内の様子】



【食文化創志科オリジナルデザート】

### (1) 新4学科の取組についての説明（13:40~14:40）

各学科、パワーポイントを使用して今春スタートした新学科紹介を行った。

#### ①スポーツ創志科（田中学科長）

教員養成の推進、部活動の活躍。

スポーツ総合演習や、スポーツV（野外活動）などの授業内容、アスレティックトレーナーによる「スポーツ概論」での実習風景などの紹介。

オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業での講演会実施。

#### ②福祉未来創志科（榎本学科長）

効果的なレクリエーションを目的とした「キューイング講習会」、大学生と高校生の関わりがもてた「コミュニケーションロボット体験」、「福祉探究」の取組紹介。これからは、福祉の国際化に焦点をあてていく。

#### ③食文化創志科（高橋信学科長）

（ハロウィンにちなんで、生徒が製作に携わった味噌&連携している大郷町産リンゴのケーキの提供あり）

4月~5月の休校期間に苗を育てる宿題を出し、泉区実沢の畑を借りて育てて、収穫した作物で本日のケーキを製作した。

昨年度から始めた、大郷町との連携事業による味噌造り紹介。  
 進路の多様化（調理師はもちろん、パティシエ、大学短大進学など）への対応。  
 新学科変更に伴い、3つの専攻を設ける。（調理師、パティシエ、栄養士）  
 高大連携による新たな食の学びを創出（岩沼市立玉浦小学校での実習実施）。  
 味噌の活動が、中学2年の英語教材に使用された。

#### ④普通科（本郷参与）

普通科の人づくり方針説明（ICT活用での情報処理能力の向上を目指す）

キーワードは「未来をデザインする」（自分の生き方を考えること）と「高大連携」（仙台大学1 day 入学や、仙台大教員による特別授業など）

2年次からの2類型4系統の説明。

未来に向かって歩み始めた1年生（4月の進路希望未定41%→10月の進路希望未定17%へ大幅減少）



【食文化創志科 高橋学科長】



【普通科 本郷参与】

## (2) 評価委員会（14：40～16：00）

### 1. 挨拶

- ・朴澤泰治理事長

創立141年目の取り組み・位置付けについて資料2点をもとに説明。

東京都中野区での裁縫ひな形展紹介。本校昇降口に設置している頌徳碑の建設寄付に、宮城県の男性名があるが、教員として裁縫教育に携わった。

川平地区再整備事業の進捗状況紹介。2階まで吹き抜けのアトリウム空間の活用が期待できる。高大接続改革という国を挙げての大きな教育改革のなかで、本校は先取りした取り組みを実施している。明成高と仙台大の7年間の流れ。体を動かすこと、教員養成をどうすすめていくか図式化したものを説明。

教員養成は、第一期（裁縫教育）・第二期（保体教育）を踏まえ、第三期目として「出藍の誉れプロジェクト」としてスタート。今年度、明成高校出身の仙台大学生で、男性の公立小学校教員が始めて誕生した（公立小学校教員採用試験合格）。弾みになるかと思われる。

来年度、新校舎・新制服となるが、やはり基本となるのは教育の中身をどうするかであり、学校の存在価値が問われる。

学科間の交流、3つの専門学科と1つの普通科を設置した。なぜ専門学科があるのか、7年間でいかに育てて社会へ送り出すかが大切である。見かけでなく、本当の意味での育成をしていきたいと考えている。その観点から指導いただきたい。

・中村勝彦校長

4月から校名変更、新学科でスタートしたが、放送による入学式後、翌日から臨時休校となった。動画配信と分散登校、面談、課題提出で乗り切り、6月から通常授業を実施。現段階で一人も感染者がいないので安心してている。土曜日授業、夏休み短縮で授業確保ができた。コロナ禍ではあるが、本校生徒は落ち着いた生活態度で身だしなみもよく、しっかりとした挨拶ができる生徒が増えた点が嬉しく感じる。

1年生は新学科一期生としての自負があるが、夏休み以降、緩みがでてきたので、10月の始業式で原点に帰るよう話をした。2年生は、落ち着いた生活態度。中だるみもなく、頑張っているが、修学旅行がなくなった。科・コースの特色にあった代案を来年度行いたい。3年生は最上級生として落ち着いた生活。意識も高い。9月にイズミティで開催した文化発表会ではファッションショーや文化部の発表があり、素晴らしい内容となり、思い出に残るものとなった。

募集について、「実学」の特色を理解してもらうために、体験学習をメインとしたオープンスクールを2回実施し、多くの生徒・保護者に参加いただいた。これからが正念場であり、定員確保を目指し、最後まで魅力ある教育活動を発信していきたい。評価委員の皆様からの忌憚のない意見をいただきたい。

2. 評価委員自己紹介

コメントのなかで、実施（割愛）

3. 今年度の取り組み

①募集業務部

各種説明会に、多数の参加あり。世間はWebメインであったが、人生の選択という大きな意味合いがあるので、本校はできるだけ対面実施を行った。オープンスクールは7月から8月に延期実施。

仙台大との連携がわかりやすいように広告掲載を心がけた。HPでのバーチャルの新制服、地下鉄広告を実施し、外部会場での説明会も充実させた。

②教務部

授業開始スタンダードの取り組み改善報告

生徒・教員の共通意識をもって次のステップへ進みたい。

Google クラウドの活用もアンケートで実施。ICTのさらなる活用。

③進路指導部

進路決定に欠かせない「面接」を重視し、教務部の授業開始スタンダードと連携している。まだ道半ばだが、自ら取り組む生徒が増えてきた。課外授業で学力向上を狙う。3年生は30名の参加。1年生はもう少し。ハイレベルな学力の確認は、模試実施増で全国の中での位置づけを確認。本校は進学者が6割を超えている、就職は4割である。どちらにも対応。

④生徒指導部

自粛期間の長期化、大会中止等でストレスが心配されたが、落ち着いた学校生活を送っている。公共交通機関で、車内での会話をやめて欲しいとの地域からの苦情あり。思いやりのある生徒育成を目指したい。

マスク着用で表情が見えにくい。声のトーンがわかりにくい。全校集会ができていないので、共通理解を図ることが難しい状況。放送による集会、生徒会行事は行っているが・・・。  
イズミティでの文化発表会、体育祭、ハロウィンなど、生徒は新生活様式での楽しみを模索している。いかに生徒の力を引き出すか、検討していきたい。

- ⑤スポーツ創志科・・・時間の関係で割愛
- ⑥福祉未来創志科・・・時間の関係で割愛
- ⑦食文化創志科・・・時間の関係で割愛
- ⑧普通科・・・時間の関係で割愛（←活動目標配布資料の差し替え配布）
- ⑨新制服紹介（中村部長）

実物展示と資料による説明。丸洗いできるなど、機能性に富んだ新制服紹介。  
大学のグリーン、高校のエンジ色を重ねた色調デザイン。



【挨拶する朴澤理事長】



【挨拶する中村校長】



【来春からの新制服紹介】



【松操会会長の二瓶さん】

#### 4. 評価委員から

- ①松操会会長 二瓶たけ子 様

同窓会活動すべてキャンセル。先生方の懸命さを感じ、後輩がうらやましい。

- ②七十七銀行荒巻支店長 坪井 健 様

附属高校化の、世間への浸透が気になる。

7年間の一環した教育。仙台大へ進学し実現できたらと期待したい。専門学科、特色ありユニークである。生徒の育成を楽しみにしている。



【七十七銀行の坪井 様】



【仙台大学の遠藤学長】

③仙台市立桜丘中学校長 渡部隆一 様

4月に着任。学校の教育活動の詳細を説明いただいた。例年の行事開催が出来ないことで、肌で感じる場面が失われている。中学校現場では11月の面談、12月の進路決定と進むが、中学校としては不安を感じる。私学のめまぐるしい変化をうまく説明できず、子どもに任せているのが現状。なるほどそういうことかと理解できた多くのことを、子どもたちに直接伝えたい。

④仙台大学学長 遠藤保雄 様

理事長先生からの話があったが、7年間の初年度である。2年間の準備期間を踏まえて、附属高校がいよいよ実現した。スポーツ、食文化、福祉などの特色を大学の6学科にうまく繋げていくことを真剣に考えたい。

⑤仙台市立桜丘小学校校長 阪元容昌 様

昨年度着任。丁寧な説明に感謝したい。これまであまりわからなかったが、社会の動向を踏まえた学校改革の内容を知り、納得した。これからの社会で必要な人材育成を高く評価したい。創志という名前がついているが、技術とともに、生き方を学ばせたいとの方針、素晴らしいと感じた。

仙台白菜の取り組みで調理科にお世話になった。前任校（東四郎丸小）での味噌造りなどでの支援、また、介護分野でも連携支援をいただき、感謝したい。仙台大学生の公立小学校教員誕生の話題もあったが、地域の資源を活用していただきたい。

⑥桜ヶ丘連合町内会会長 酒井典雄 様

高大接続改革、将来像を聞くことが出来た。桜ヶ丘は文教地区、それに相応しい町作りを目指している。互いの資源を活用していけたら。5年前からの人口減、空き家増も懸念されるが、若い人を呼ぶための事業を展開していきたい。明成の活躍を祈念している。

⑦アクアビット・ファクトリー(株)代表取締役 蓬田裕樹 様

食文化創志科で説明のあった、カルチャーの話題、人を耕す、地域社会を耕すことについて共感した。現代は情報があふれる時代、知識だけでなく、どう活用するか、リテラシーが問われているが、その場面に力が注がれていることに共感を覚えた。

昨今の若者の自殺のニュースが気になる。10代のストレスを心配していたが、生徒は落ち着いていると聞き、安心した。授業開始スタンダードをベースに日々の学びの体現を期待したい。

⑧父母教師会会長 千石賢一 様

新校舎建設、附属高校化、学科再編という華々しいスタートだったが、未曾有のコロナ禍、力を合わせてこの難局を乗り切りたい。

中学時代に不登校気味だった生徒の多くが、通常に学校生活を送れていることは喜ばしいこと。普通科は2年生から情報系希望者が多いことも、素晴らしい。

食文化創志科は大郷町連携事業で、非常に活躍されていると聞く。各科が存分に力を発揮 していただければと考える。

【質疑応答】

\*酒井町内会長様

新校舎建設会社の鹿島道路さんと話をしたとき、朴澤理事長先生が地域の安全安心を重視していると聞いた、感謝申し上げたい。

\*朴澤理事長様

東日本大震災もあったので、一番重視している。しばらくご迷惑をかけます。



【来春完成予定の新校舎見学】

5. 閉会（狩野副校長）

出席に対する御礼

16:05 評価委員会終了

16:15 新校舎見学（希望者のみ）

新校舎敷地内に移動し、建設会社の鹿島道路担当者から順調に進捗しているとの説明を受けた。

16:30 終了、解散。

以上